きりゅう 市議会だより

No.292
令和8年9月定例会
2026年11月1日





こちらの二次元コードからでも「きりゅう市議会だより」を閲覧できます。

〔主な内容〕

特　　集……P 2
一般質問……P 4
定例会概要……P10

桐生市議会は、いちばん身近な頼れる議会を目指して議会機能の充実強化に努めます。

予算要望書提出



▶市長へ要望書を提出する議長・副議長及び各常任委員長

桐生市議会では市民意見を市政に反映させるため、次年度当初予算に対する要望書を全議員の総意として市長に提出しています。

要望内容は下記のとおりです。なお、二次元コードを読み取ると、全文を見ることができます。

全文はこちらを
CHECK!

総務委員会

◆行政改革の推進について
◆総合計画等の策定における市民参画の充実について
◆地域公共交通の利便性向上について



おりひめバス



クビアカツヤカミキリ

経済建設委員会

◆商工振興に関すること
◆農業に関すること
◆特定外来生物対策に関すること

教育民生委員会

◆桐生市立小中学校適正規模・適正配置実施後に児童・生徒が通う学校施設の環境充実、及び、統合校施設周辺を含めた用地に関する調査、取得等に向けた準備の着実な実施に関すること
◆桐生市立学校体育館のエアコン設置に関すること
◆桐生厚生総合病院の周産期維持のための特別補助金の拠出に関すること



桐生厚生総合病院

意見交換会

経済建設委員会

経済建設委員会は９月30日、桐生市観光物産協会と「移住者や若者の起業支援について」と「事業承継と後継者確保について」の二つのテーマで意見交換会を実施しました。

意見交換の場では、空き家・空き店舗の活用、移住・起業・観光をつなぐ「人とのつながり」、重伝建地区の観光振興、公共交通の将来、事業承継のマッチング・後継者不足問題、教育による子ども郷土愛の醸成などのご意見をいただきました。



桐生市観光物産協会と意見交換をしている様子

7月17日大雨による被害箇所を現地調査



農地への土砂流入の現地調査の様子

経済建設委員会

経済建設委員会は、7月17日の局地的豪雨により農地や土木施設に生じた被害の状況把握を目的として、広沢町4丁目地内の広沢用水路および広沢町6丁目地内の西ノ入沢で現地視察を実施しました。

今回の豪雨では、短時間に大量の降雨があったことにより、両地域で農地への土砂流入、用水路からの溢水、護岸の崩落など、深刻な被害が発生しました。特に、用水路沿いの低地帯では農地への土砂流入が著しく、営農再開への課題が生じる状況となっていました。

足尾山元調査

水質調査特別委員会

水質調査特別委員会は「渡良瀬川及び桐生川並びに市域内河川の環境・水質保全について」及び「山元（古河）対策について」を付託項目として長きにわたり活動しています。

その一環として10月1日に足尾山元調査を実施いたしました。現在でも足尾鉱山の坑廃水が直接渡良瀬川に流入しないように古河機械金属㈱足尾事業所により処理が行われ沈殿物は管理されています。今回の調査では現在使用されている簀子橋堆積場と中才浄水場を視察するとともに全ての関連施設が適正に管理・運営されていることを確認してきました。

今後も調査活動を継続し、水環境の保全に向けて委員会の役割を果たしてまいります。



中才浄水場を視察する様子

常任委員会



多くの団体と意見交換をしている様子

教育民生委員会

教育民生委員会は9月29日、桐生市区長連絡協議会、桐生市ＰＴＡ連絡協議会、郵便局、地域担当職員と意見交換会を実施しました。

「持続可能な地域コミュニティ」をテーマに、地域コミュニティの中の横のつながりを強化することを主軸として、役員などの担い手についてや地域のイベントについて、地域の防災について、子どもや高齢者に対する見守り活動について、小中学校の適正規模・適正配置についてなど、各団体の様々な視点から議論が交わされました。

過去の定例会から本定例会までの一般質問通告一覧表はこちらの二次元コードから見ることができます。



ここが聞きたい！ 一般質問

テーマは自由

質問する内容は、議案とは関係なく、市政に関し自由に決め、事前に通告しています。

質問時間は40分

議員１人の質問時間は、市当局からの答弁も含めて、40分以内です。

Check 市議会だよりでは、スペースの都合上、質問と答弁が要約してありますが、各議員の二次元コードを読み込むと、一般質問の映像を見ることができます！

９月17日（木）・18日（金）の２日間にわたり、15人の議員が一般質問を行い、市政に関する問題について、市当局の見解を求めました。

※氏名の横は所属会派名（無会派は会派に属さない議員）

「持続可能な開発目標（SDGs）を桐生市のまちづくりに生かす条例」に基づき、令和３年11月から議員の提案に関連する主な目標ロゴを掲載しています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

持続可能な 開発 目標
Sustainable Development Goals

SDGs（エスディージーズ）とは…
「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称であり、国際社会共通の目標です。





議員の提案

消防団の活動写真など常設展示すべき

11 住み続けられるまちづくりを

消防団の活動を広く周知すべき

問 ７月の豪雨災害における消防団の活動は。また、市庁舎１階などに訓練時などの写真を常設展示すべきと考えるが。

できる限り周知に努めたい

答 用水路の越水などを防止するための土のう積みや出水危険箇所の監視のほか、水没車両内の男性の救助などを行った。現在、消防本部庁舎において、消防団の訓練や研修の様子等を、写真展示している。今後は、その他の署所でも写真展示を行い、地域住民などによる自主防災訓練などの出向時にも消防活動の啓発に努めたい。また、市庁舎の展示については、常設展示は難しいが関係各課と調整し、市民の皆さまへの周知に努めたい。


消防団の訓練の様子

歌代（うたしろ） 公司（こうじ） 議員
無会派

自然災害への備え



議員の提案

医・救・福のACP（人生会議）情報共有

小島（こじま） 強（つよし）議員
一心会

命と尊厳を守る



救急時の本人の意思を共有して

問　増大する救急需要に対応するには、限られた医療資源を真に必要とする方へつなぐことが重要と考える。内閣府では、患者のＡＣＰ情報を含む医師の事前指示書を、医療・福祉・救急で情報連携し、本人の意思を共有する実証実験を行っている。本市でも体制構築ができないか。

今後、連携の在り方研究していく

答　本市も、万が一の場合の希望する処置について意思表示ができるエンディングノートを配布しているが、関係機関との適切な情報共有はまだ十分とは言えない。今後、先進自治体の事例を参考にしながら、ノートの活用方法や関係機関との連携の在り方を研究してまいりたい。



ACP 人生会議（厚生労働省）

そのほか…「激甚化する気象災害（猛暑・豪雨）への適応策」について質問

ヒント「人生会議」とは…もしものときに備え、自分が望む医療やケアについて前もって考え話し合い、共有する取組。

議員の提案

桐生の日本遺産を発信して地域活性化

河原井（かわらい） 始（はじめ）議員
クラブ21

交流人口拡大



日本遺産追加認定後の方針は

問　本市には、２０１５年に認定された日本遺産「かかあ天下―ぐんまの絹物語」の強みがある。さらに今年９月に新たに「桐生織」と「ひもかわ（桐生うどん）」が追加認定された。これらの日本遺産について今後の取組や、方針などを総括的に伺いたい。

追加認定を機に全国サミット誘致へ

答　追加認定は桐生の実績・成果を文科省が高く評価した結果であると捉えており大変嬉しく誇りに思っている。今後、和装文化や織物関連都市との連携強化を図り、将来的には１０４ある日本遺産の全国サミット誘致に向け働きかけを行ってまいりたい。


桐生織

そのほか…「人口減少社会（地方創生）」について質問

議員の提案

想定外の災害に備え見直しを

岡部（おかべ） 純朗（すみお）議員
そうぞう未来

ハザードマップ



水害ハザードマップの更なる充実

問　平成30年８月に発行された水害ハザードマップは、情報が充実しており大変役に立つものであるが、年数も経過し内容を改訂していく必要がある。想定外の災害に対応するため、避難所情報等の更新に併せ、昨今の気象情報等を盛り込んだ内容としていく考えはあるか。

防災情報の充実に向け改訂作業中

答　今年度、内容のアップデートを行った改訂版冊子を全戸配布する予定である。新たなハザードマップには、最新の浸水想定区域図に加え、近年の気象状況等を踏まえ、防災情報や避難行動に役立つ情報をわかりやすく掲載できるよう、現在、改訂作業を進めている。



桐生市水害ハザードマップ（いつかのためにいまから備える本）

そのほか…「桐生市の空家対策」について質問

議員の提案

災害時応援協定で市民の命守る取組を

園田 基博（そのだ もとひろ）議員
一心会



災害時の受入体制

万が一に備えて万全な受入体制を

問　市民の命を守るために、市は平常時から被災者が当面暮らすための避難場所を確保する必要があると考える。他市町村との協定を含め受入れ体制はどうのようになっているか。

あらゆる手法で体制強化を図る

答　本市では市営住宅の空き部屋提供のほか、合計10の自治体や市内の宿泊施設と協定を締結し、一時的な居住場所を提供できる体制を確保している。今後も県や応援協定締結先の自治体、民間事業者等と連携を図りながら、長期避難生活が必要となった被災者に、一刻も早く良好な居住環境を提供するための体制強化に努めたい。



避難所生活のイメージ

そのほか…「桐生ＡＩＲ」について質問

議員の提案

学校教材の備品化・リユース制度推進

渡辺 恒（わたなべ ひとし）議員
日本共産党議員団



教材費負担軽減

全国事例を参考に負担軽減を

問　本市の教材費の保護者負担は小学校で約9万4千円、中学校で約9万1千円である。しかし、全国事例では、教材などの備品化、制服リユースと指定品ルール緩和を実施している。そこで、全国事例の取組や、使い終わったリユース品を集めて使ってもらう取組を図れないか。

研究し負担軽減を図りたい

答　すでに辞典やそろばん、画板を備品化し、制服・運動着のリユース貸与を実施している。今後は、兄弟姉妹間での再利用や柔道着レンタル、指定品ルール見直しなどを進めると共に、リユース品活用の周知拡大と備品化の研究を深め、保護者の負担軽減を図ってまいりたい。



提供されたリユース品

そのほか…「空き家を活用した定住促進」「ジェンダー平等を公務職場で実践すること」について質問

議員の提案

市役所にマルチコピー機導入して

工藤 英人（くどう ひでひと）議員
政策研究会



マイナカード活用

本庁舎でもマイナ利用で証明書発行

問　マイナカードは、健康保険証や運転免許証など、行政と市民をつなぐデジタル社会の基盤であり、利便性や必要性が向上している。コンビニでは、印鑑登録証がなくてもマイナカードで証明書が発行できるが、市の窓口では登録証の持参が必要となる。本庁舎にコンビニと同様のマルチコピー機を導入できないか。

今年度中に簡易版を導入・稼働予定

答　本庁舎では、マイナカードを用いて印鑑登録証明書の発行ができるマルチコピー機の簡易版にあたる「らくらく窓口証明書交付サービス」を今年度中に導入、稼働予定である。導入後は、印鑑登録証がなくても、証明書取得が可能となる。



マイナンバーカードのイメージ

議員の提案

支援員等に対し倫理研修を

福島（ふくしま） 賢一（けんいち） 議員
政策研究会

放課後児童クラブ

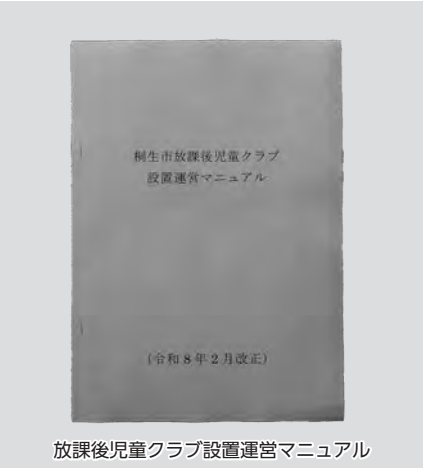


クラブの適切な運営について

問 富岡市の放課後児童クラブにおいて、支援員が児童に暴行を加え、傷害の疑いで逮捕される事件が発生した。本市には、27の放課後児童クラブがあるが、運営に重要な役割をなす支援員等に対し、倫理研修等は、実施されているのか。

機会を捉えて倫理研修等を実施

答 職場倫理については、「桐生市放課後児童クラブ設置運営マニュアル」に位置づけられており、放課後児童クラブに従事する者として遵守しなければならない大変重要なものと考えている。今後も引き続き、県等の研修を活用するとともに、指導を行う立場として市も機会を捉えて倫理研修を実施していく。



放課後児童クラブ設置運営マニュアル

そのほか…「渡良瀬幹線道路計画」について質問

議員の提案

統合への不安の解消に向けた交流促進

久保田（くぼた） 裕一（ゆういち） 議員
そうぞう未来

小中一貫教育



中学校区内での関係性づくり

問 今後、中学校区ごとに二段階の学校統合が想定されている。統合への不安の解消には、小学校同士や中学校との交流を通じ、進学前からの関係性づくりが必要と考える。既存の小中学校施設を活かし、中学校区を一つの学校と捉えた施設分離型の小中一貫教育を桐生市全体で推進することを提案するが、市の見解は。

教育環境の充実に向け研究を継続

答 これまで小学校と中学校の接続を意識した英語学習の推進や児童理解の促進、中1ギャップの軽減に取り組んできたが、今後も児童生徒が安心して学習できる教育環境の実現に向け、全国の先進事例等を参考に研究を継続してまいりたい。


教育センター

そのほか…「桐生市立小中学校適正規模・適正配置後の学校跡地の活用」について質問

議員の提案

挑戦・業務改善促すインセンティブを

近藤（こんどう） 芽衣（めい） 議員
そうぞう未来

人事評価制度



職員の挑戦を後押しする取組を

問 人事評価は、職員の努力や挑戦を次の機会につなげ、組織全体の力を高めることが重要である。業務改善や新たな挑戦など、数値化しにくい貢献も含め、職員の能力や実績を適切に評価し、給与だけでなく、表彰・研修・配置・キャリア形成等につなげることについて見解は。

頑張る職員が報われる職場づくり

答 本市では、能力評価と業績評価を行い、成果だけでなく、目標達成に向けたプロセスや困難度、新たな取組への挑戦なども評価している。今後も国や他自治体の先進事例を参考に、評価と処遇の連動について研究・検討を進め職員の意欲向上と組織の活性化に努めていく。


桐生市役所

そのほか…「不登校児童生徒に対する支援と学習評価」について質問

ヒント「インセンティブ」とは…人の意欲を引き出し、特定の行動や目標達成を促すための「刺激・動機・誘因・報奨」を意味する。

議員の提案

難病患者の社会参加のための支援拡充

丹羽 孝志 議員
公明クラブ

施設利用料減免



難病患者等の減免制度拡充

問 現在、市民プール、新里温水プール、青少年野外活動センターを利用する際の本市の減免制度は障害者手帳所有者のみとなっており、手帳を持たない指定難病医療受給者証、小児慢性特定疾病医療受給者証等の所有者は減免を受けられていない。しかし県では、当該受給者証等を確認書類として減免の対象としている。市としても困難な人へ寄り添い、減免の対象に加えることはできないか。

所管課へ情報提供し検討を促す

答 県の取組を各施設所管課に情報提供し、減免対象拡大の検討を働きかけ、指定難病患者の外出や社会参加の機会を広げられるよう連携してまいりたい。


市民プール

そのほか…「指定ごみ袋の安定供給と有効活用」について質問

議員の提案

mRNAワクチンに警鐘を鳴らしたい

飯島 英規 議員
無会派

脅威になり得る



予防接種健康被害救済制度の状況は

問 本市における、新型コロナワクチン予防接種健康被害救済制度の状況は。

申請8人、認定されたのは1件

答 予防接種法に基づく予防接種は、感染症を予防するために重要なものだが、まれではあるが副反応による健康被害をなくすことはできないことから、救済制度が設けられている。本市ではこれまで相談者31人、うち8人が申請している。申請した給付の種類は、医療費及び医療手当6件、そのうち障害年金も併せての申請3件、死亡一時金・葬祭料2件であり、これまでに医療費及び医療手当1件が認定されており、審査中が1件となっている。


ワクチンを打つイメージ

そのほか…「地方自治体としての桐生市、国旗掲揚についての考え方」について質問

議員の提案

説明会を再度開催し地域と意見交換を

関口 直久 議員
日本共産党議員団

小中学校統廃合



対象地域への住民説明会について

問 統廃合について、地域の合意を得ることは重要であり、一部の意見を聞いて進めるのは問題である。地域へ出向き、再度、住民説明会を開催し、意見交換をやるべきと考えるが。

必要に応じて地域の意見をいただく

答 桐生市立小中学校適正規模・適正配置実施計画案に対し、説明会やパブリックコメントでは、多くの意見をいただいた。今後、住民説明会の予定はないが、設置される準備に向けた委員会において、必要に応じて子どもたちや保護者、対象地域の意見を丁寧にお聞きしながら、新しい学校づくりに向けて、具体的な内容を決定し、速やかに周知していく。


教育センター

そのほか…「市庁舎建設事業」「体育館へのエアコンと洋式トイレ」について質問

議員の提案

市営住宅の既存ストックの方向性は

辻 正男（つじ まさお） 議員
そうぞう未来

市営住宅



個別の状況に応じ計画的な整備を

需要やコストを踏まえた維持管理

問 市営住宅の既存ストックについて、公共インフラとして修繕を行いながら維持していく住宅や、老朽化が進み今後の維持が難しく集約や用途廃止を検討すべき住宅など、それぞれの状況に応じた整備が必要不可欠であると考えるが、今後どのように管理を行っていくか。

答 公共施設等総合管理計画や公営住宅等長寿命化計画、住宅マスタープランに基づき、需要が見込める団地は計画的な修繕を行う一方、需要の低迷や多額の更新費用が見込まれる団地については、将来的な用途廃止も含めた効率的な維持管理を進めていく必要があると考えている。


市営住宅

議員の提案

空き家ストック活用のための体制強化

山之内 肇（やまのうち はじめ） 議員
公明クラブ

空き家対策の充実



空家等管理活用支援法人の指定を

最適なあり方を前向きに調査・研究

問 空き家対策の充実に向けて、より目を向けるべきは、空き家の価値を見出し、再生する機能を強化することではないか。そのために、空家等管理活用支援法人に関する方針の速やかな策定と意欲ある民間事業者等の指定により、公民一体の重層的な連携体制を構築すべきでは。

答 支援法人の指定は、官民連携をより一層強化するための有効な選択肢と捉えている。指定については、先進事例や市内の事業者等の参入意欲・実施体制などを慎重に見極める必要がある。今後も、本市にとって最適な官民連携のあり方を前向きに調査・研究を進めてまいりたい。


リノベーション中のイメージ

そのほか…「草木類資源化の推進」について質問

二次元コードの読み取り方

1 スマホのカメラ、またはアプリを起動する。



2 スマホを二次元コードにかざす。



3 表示された読み取り結果をタップする



議員による寄附や年賀状などは法律で禁止されています。

公職選挙法により、議員は次のことを禁止されています。市民の皆さんのご理解をお願いします。

◎年賀状などのあいさつ状を出すこと。
（答礼のための自筆によるものは除きます）
◎寄附をすること。
◎本人が出席しない慶弔に祝儀や香典を出すこと。





本会議

9月定例会

9月の定例会は、8月26日から9月18日までの24日間開かれ、市長提出議案22件、請願6件の審議のほか、15人の議員が一般質問を行いました。

会　　期　8月26日～9月18日（24日間）

市長提出議案　22件　※決算議案7件、補正予算5件を含む

請願審査

付託委員会	受理番号	件名	結果
総務委員会	第18号	日本政府に「非核三原則堅持を求める意見書」をあげる事の採択を求める請願	継続審査
経済建設委員会	第17号	「ホルムズ海峡封鎖等の影響による中小業者の緊急事態の打開を求める意見書」の国への送付を求める請願	取下承認
	第19号	ホルムズ海峡封鎖等の影響による中小業者の緊急事態の打開のため、直接支援の実施を求める請願	継続審査
	第20号	「ホルムズ海峡封鎖等の影響による中小業者の緊急事態の打開を求める意見書」の国への送付を求める請願	
教育民生委員会	第14号	選択的夫婦別姓制度をただちに導入するための国会審議を求める意見書の提出についての請願	
	第21号	中学3年生および高校3年生相当の市民への新型コロナワクチン接種助成事業の再考を求める請願	

陳情審査

付託委員会	受理番号	件名	結果
総務委員会	第11号	「庁舎内における政党機関紙勧誘行為」において東京都新宿区での対応事例に鑑み、桐生市が実施した「政党機関誌アンケート結果」を真摯に受け止め、市職員を心理的圧力から保護する措置を求める陳情	継続審査
教育民生委員会	第6号	保育料・給食費の完全無償化及び保育士等の処遇改善を求める陳情	
	第13号	mRNAワクチン（レプリコンワクチンを含む）接種事業中止の意見書提出を求める陳情	取下承認
	第14号	公立中学校における平和教育及び校外学習の政治的中立性と安全確保を求める陳情	継続審査
	第15号	mRNAワクチンに関する検証・情報公開及び健康被害者への十分な支援についての意見書提出を求める陳情	



決算特別委員会の様子

決算特別委員会 開催

令和7年度桐生市歳入歳出決算、桐生市各公営企業会計決算については、それぞれ認定されました。

同決算の認定に当たっては、市長による令和7年度決算総括、監査委員による監査報告の後、決算特別委員会（委員16名で構成）を設置し、3日間にわたり慎重に審査を行いました。

詳細はこちら

賛否の公表

●全員賛成で可決した議案

	議案番号	件名	結果
市長提出	報告第９号	専決処分（令和8年度桐生市一般会計補正予算（第3号））の承認を求めるについて	承認
	議案第61号	桐生市市税条例の一部を改正する条例案	原案可決
	議案第62号	桐生市都市計画税条例の一部を改正する条例案	
	議案第63号	桐生市地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化のための固定資産税の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例案	
	議案第64号	訴えの提起について	
	議案第65号	桐生市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案	
	議案第66号	桐生市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案	
	議案第67号	桐生市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案	
	議案第68号	桐生市印鑑条例の一部を改正する条例案	
	議案第69号	桐生市認可地縁団体印鑑条例の一部を改正する条例案	
	議案第70号	令和8年度桐生市一般会計補正予算（第4号）	
	議案第71号	令和8年度桐生市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	
	議案第72号	令和8年度桐生市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）	
	議案第73号	令和8年度桐生市水道事業会計補正予算（第1号）	
	議案第79号	令和7年度桐生市農業集落排水事業会計未処分利益剰余金の処分について	
	議案第80号	令和7年度桐生市農業集落排水事業会計決算の認定について	認定
	議案第81号	令和8年度桐生市一般会計補正予算（第5号）	原案可決

●賛否が分かれた議案

○：賛成　×：反対　△：退席　－：除斥　欠：欠席

議案番号・議案		飯島英規	歌代公司	渡辺恒	関口直久	小島強	園田基博	北川久人	久保田裕一	近藤芽衣	工藤英人	丹羽孝志	山之内肇	人見武男	辻正男	岡部純朗	福島賢一	佐藤光好	河原井始	周藤雅彦	結果
議案第74号	令和7年度桐生市歳入歳出決算の認定について	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	※議長のため採決に加わらず	○	○	○	○	○	○	認定
議案第75号	令和7年度桐生市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第76号	令和7年度桐生市水道事業会計決算の認定について	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	認定
議案第77号	令和7年度桐生市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第78号	令和7年度桐生市下水道事業会計決算の認定について	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	認定

今月の表紙

インターンシップ実習生の受け入れ

桐生市議会では、議会の仕事や議員の役割について知っていただこうと、学生の職場体験、インターンシップの受け入れを行なっています。

今回は、8月19日に２名の大学生に議会事務局の仕事を体験していただきました。



会議録作成作業をしている様子



議長・副議長と意見交換をしている様子

次回定例会の開催予定は…

11月30日(月)からです。

市議会だよりは、紙面の都合で発言の一部(要旨)を掲載しています。詳しくは、図書館で会議録をご覧ください。

なお、会議録は桐生市ホームページからでもご覧いただけます。

傍聴してみませんか?

本会議は一般に公開されており、どなたでも傍聴できます。

なお、傍聴ロビーのモニターでもご覧になれます。傍聴を希望される方は、市役所４階傍聴ロビーまでお越しください。団体傍聴を希望される方は、座席の都合もありますので、事前に議会事務局までご連絡ください。

※児童及び乳幼児を同伴しての入場は、議長の許可が必要となりますので議会事務局にお声がけください。



ごあいさつ



人見 武男 議長



山之内　肇 副議長

市民の皆様には、平素より市議会に対しまして、ご理解、ご協力を賜り、心より感謝を申し上げます。

さて、第３回定例会は、令和７年度の予算執行状況を審議する決算議会でありました。議長・副議長及び議会選出の監査委員を除く全議員が委員となる決算特別委員会を設置し、３日間にわたる慎重な審査を行った結果、一般会計、特別会計及び企業会計それぞれ適正かつ効率的な執行が確認され、認定されました。

また、桐生市議会の独自の取り組みとして、市議会の総意により令和９年度当初予算要望書を市長に提出いたしました。今後の桐生市の持続的な発展に資するよう、市議会として責任を持って提言を行なっております。これらの提言がどのように予算に反映されているかについては、来年度予算案の審議を通じて、しっかりと議論を深めてまいります。

今後も議員一丸となって取り組んでまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

桐生市議会　検索　▶▶　https://www.city.kiryu.lg.jp/shigikai/

■発行／桐生市議会　〒376-8501　群馬県桐生市織姫町1-1
(0277)32-3538
■編集／桐生市議会事務局
■印刷／太陽印刷工業株式会社

UD FONT 見やすいユニバーサルデザインフォントを使用しています。

LINE（ライン）　Facebook（フェイスブック）　YouTube（ユーチューブ）　X（旧ツイッター）